令和6年度　自己評価・学校関係者評価報告書

令和7年3月31日

学校法人双羽学園　認定こども園双羽幼稚園

1　学園の基本理念　：　ともに育ち合い　よりよく生きる

自分の思いを持って自分らしく、仲間とともに生きる喜びを感じながら
こどもをまんなかに、園と家庭が手を取り合い
地域とともに　みんなでつくる「こども園」

2　本園の教育・保育の方針　：　50の文字を教えるより100の「なんだろう？」を育てたい

知識や技能を教え込むのではなく、遊びや生活の体験を通して
子ども自らが考えたり、試したり、表現したりする、心情・意欲・態度を育てる

3　本園の目指すこども像

「あかるく」しっかりとした愛情に支えられ
「たくましく」やりたいことを見つけて挑戦し　⇒　自分のことが「すき」と言える子ども
「創造性豊か」仲間とともに試行錯誤する

4　本年度重点的に取り組む目標・計画

園と家庭との繋がりを更に密にし、地域との連携にも努めながら、次の3点から目指す子ども像の具現化を図る。

① 保育実践と記録を基に教職員間で語り合い、教育・保育の質向上を図る（研修の充実）
② 安全、且つ子どもの好奇心を高める保育環境の充実に努める（安全点検と危機管理状況の確認及び環境構成）
③ 子どもを真ん中にして相互の育ち合いの在り方を考える（保護者理解）

5　評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目		評価	取り組み状況
1	研修の充実	子どもの主体的な遊びを促す環境構成・援助の充実	B	月1回、1号こどもの短縮保育日を設け、午後2時間程度の園内研修に充て、教職員の断片的な保育記録を共有し、意見交換をする取組を中心に実施した。子ども理解を深めることで保育内容が充実することを、ひとり一人の教職員が実感できるよう、研修方法の改善を要する。
		子どもの育ちを捉える断片的な記録の蓄積		
		子どもの育ちを支える連続性を持ったエピソード記録の充実		
		保育の質を高める研修		
2	安全管理	安全で衛生的な生活を維持するためのマニュアルを共通理解する。	A	教職員の自己評価からも、安全で衛生的な環境づくりについて、ひとり一人の意識が高まっていることが伺える。当年度は、隔月1回程度、分野別に担当者で小集団でのミーティングを行うようにしたことがそれぞれの意識の向上に繋がった。引き続き、取組を継続していく。
		教職員ひとり一人が日々、安全・衛生を意識して行動する。		
		園庭・園舎・遊具の安全点検と危機管理状況の確認と把握		
		園庭環境の整備計画と段階的な実施		
3	保護者理解	保護者の園で生活する子どもへの関心を高める工夫	B	教職員・保護者の双方向から、前向きな評価が多数だが、園に率直に気になることを伝えられないと感じている保護者が一定数おられる。一日せんせい体験や子育て座談会等への参加呼びかけを丁寧に行い、繋がりを深めていきたい。
		保護者との信頼関係を築き、保護者のニーズを把握する		
		子どもを真ん中に、園と家庭の役割を考え保護者との共通理解を図る		
		共に育ち合う仲間として園と家庭の連携を深める		

評価　（A…十分に成果があった　B…成果があった　C…少し成果があった　D…成果がなかった）

6　総合的な評価結果

評価	理　由
B	保護者・教職員双方の評価結果からは、おおむね安定的に方針にそった園の運営ができていることがうかがえた。一方で、保育の質の向上（保育内容の充実・保護者との連携）については、更なる創意工夫が必要である。

評価　（A…十分に成果があった　B…成果があった　C…少し成果があった　D…成果がなかった）

7　今後取り組むべき課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	研修の充実	子ども理解の深まりが課題である。何かに気づき心を動かされている子どもの姿に気づくことができる保育者の視点を育むための研修を実施し、保育の主体的な学びにつなげていきたい。また、経験年数3年以上の教職員を対象にキャリアアップ研修受講を推進し、履修した内容が業務に生かされるような組織作りに努める。
2	安全管理	定期的（前期・後期に1回づつ）にマニュアルの読み合わせ等、教職員による確認を行い、実態に則していない場合は随時更新する。また、それぞれの教職員の気づきを全体にシェアできるよう、小集団でのミーティング等を充実させていく。
3	保護者理解	個々の保護者との直接的なコミュニケーションを重視し、保護者（子どもの家庭生活環境）理解に努めるとともに、保護者の子どもに対する関心や子どもが暮らす園の保育・教育に対する関心が高まるよう取組をすすめていく。

8　学校関係者評価委員会の評価

オープンスクールやせんせい体験、運動会や発表会等の園行事を通して、園を地域に開く取り組みも活発に行われるようになっており、家庭や地域との繋がりを深めようとする努力が感じられた。保育の質向上については、課題が見られるものの、園の教育・方針の基、教職員が協力して業務を遂行し、多くの保護者から満足度の高い評価が寄せられている点は好ましい。今後も、更なる保育の質向上を目指し、地域に開かれた園としての成長が期待される。